

科目名	スポーツ産業論 Sports Industry						
科目担当者	奥村 憲博 OKUMURA Norihiro						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 専門科目] 法学部・法律学科 [専門教育科目 関連科目]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	スポーツ産業は、施設、スポーツサービス、プロスポーツ、メディアなど多岐にわたる。さらに、マーケティングやマネジメントとも関わりが深い。スポーツ産業を学ぶことでスポーツに関する職業領域を理解する。						
授業の到達目標	<p>①施設、スポーツサービス、プロスポーツ、メディアなど多岐にわたるスポーツ産業を理解することで、スポーツ産業を巡る課題に対する解決・改善に向けて、主体的に対応する力（課題発見力・問題設定力・対応力）を身に付ける。</p> <p>②マーケティングやマネジメントとも関わりが深い。スポーツ産業を学ぶことで、地域社会のみならず国内外の広いフィールドで中核的な人材として活躍するための経営的知識、技能、読む力、考える力及び判断力を発揮できるようになる。</p>						
授業計画・内容	1	オリエンテーション： 講義方針と性先評価について					
	2	スポーツ産業とは					
	3	スポーツ用品産業					
	4	スポーツ施設産業					
	5	スポーツサービス産業					
	6	スポーツとメディア産業					
	7	プロスポーツビジネス1 日本のプロスポーツ					
	8	プロスポーツビジネス2 欧米のプロスポーツ					
	9	スポーツ消費者1 するスポーツ・見るスポーツ					
	10	スポーツ消費者2 スポーツサービス					
	11	公共スポーツ施設のマネジメント					
	12	フィットネスクラブのマネジメント					
	13	クラブ事業のマネジメント					
	14	スポーツスポンサーシップ					
	15	スポーツ資格制度					
授業外学修 (事前学修)	毎回、Moodle に投稿されるプレゼン資料を予習し、講義内での意見、質問等をノートにまとめておく（毎週 2 時間程度）。						
授業外学修 (事後学修)	毎回、授業内容を復習し、それに関連する事例を新聞、テレビやインターネット等における国内外報道を検索し、ノートに追記する（毎週 2 時間程度）。						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法					評価比率	到達目標との対応
	定期試験 平常点（講義中の質疑・発言等）					80% 20%	①、② ①、②
成績評価基準	<p>秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合</p>						
教科書	原則として教科書やテキストは使わない。パソコンのパワーポイント・ソフトを使って講義する（毎回 Moodle にプレゼン資料投稿）。						
参考文献							
その他							